

日本分析化学会東北支部 2021 年 第 1 回役員会

日時：2021 年 3 月 27 日（土）13:00－14:00

形式：オンライン開催（Webex によるオンライン会議）

（事由：新型コロナウイルス（Covid-19）感染拡大の防止のため）

2020 年第 3 回支部役員会 議事録

(p.2-3)

議題

1. 支部役員追加・退任 資料 1 (p.4)
2. 理事会、本部・支部連絡会議等報告
2-1. 理事会報告・本部支部連絡会議報告 資料 2 (p.5～7)
2-2. ぶんせき, 分析化学, Analytical Sciences
2-3. その他
3. 2020 年度事業報告 資料 3 (p.8, 9)
4. 2020 年度会計報告 資料 4-1, 4-2 (p.10, 11)
5. 2021 年度支部役員・委員等 資料 5-1, 5-2 (p.12, 13)
6. 2021 年度予算案 資料 6-1, 6-2 (p.14, 15)
7. 2021 年度事業計画案 資料 7 (p.16)
8. 支部を活性化する新規事業案 資料 8 (p.17)
9. その他
・支部 HP の改訂（各研究室へのリンク等）など 資料なし

日本分析化学会東北支部 2020年度 第3回役員会 議事録(案)

日時 : 2020年12月12日(土) 13:00-14:10

形式: オンライン開催 (Webexによるオンライン会議)

(事由: 新型コロナウイルス (Covid-19) 感染拡大の防止のため)

出席者: 伊野、西澤、伊藤、火原、大江、野原、大橋、井上(久)、田副、押手、小川、井上(亮)、佐藤(健)、佐藤(雄)、和久井、盛田、北川、糠塚、唐島田、鈴木(敦)、珠玖、多田、猿渡、遠藤、壹岐、高貝

(26名, 順不同、敬称略)

*委任状が更に17名分存在し、役員会開催における定足数を満たした

冒頭、壹岐支部長より、故・内山一美 前会長への追悼の辞があり、支部役員による黙とうがささげられた。

前回役員会議事録確認

2020年度第2回役員会の議事録を確認し、了承された。

議題

1. 支部役員の追加

福山真央氏(東北大・多元研)の支部役員への追加が提案され、了承された。

2. 理事会、本部・支部連絡会議等報告

壹岐支部長より、2020年度第2,3回の臨時理事会、本部支部連絡会議、第4,5回理事会について報告があった。内山一美会長の急逝に伴う、会長代行についての説明と、最終的には内閣府の指導により会長を選出しなければならないことになった旨の経緯説明があった。これに基づき、金澤秀子筆頭副会長が内山会長の任期中間、会長を務めることの報告があった。

第5回理事会報告に関して、代議員の投票により次期会長に早下隆士副会長が選出された旨の報告があった。また、キャッシュフローの状況説明があり、Anal.Sci誌の科研費分を除いた残高が少なく、討論会収入が800万円減であることが赤字の理由であると説明があった。また、「ぶんせき」誌の冊子体の送付を、学生会員へは2021年3月、個人会員へは2022年3月に中止し、団体会員については当面継続することが報告された。本部より、年会・討論会の自主運営に関わる「全国規模での年会・討論会WG(大谷副会長)」の依頼に対して、西澤(分担者として、火原)・高貝の3幹事をメンバーとして推挙する旨、了承された。

3. 本年度事業計画・報告

- ・ 壹岐支部長より、本年度に実施された 5 件の事業報告があり、了承された。

4. 2021 年度 事業計画案

- ・ 壹岐支部長より、2021 年度に実施が計画されている事業について説明があり、了承された。支部長より、活発な活動を促し支部としての支援する旨の案内があった。

5. 2020 年度 決算報告書・2021 年度収支予算案

- ・ 唐島田会計幹事より、資料に基づき 2020 年度の決算報告があり、Covid-19 の影響によるイベントの中止・オンライン化によって支出予定分が余剰となったとの説明があった。質疑応答の後、決算案が了承された。
- ・ 唐島田会計幹事より、資料に基づき 2021 年度の収支予算案があり、Covid-19 の影響によりイベントの開催について状況は不透明であるが、対面で実施できることを想定した予算案であるとの説明があった。火原幹事より、前年度未執行額が多い中での予算編成について、例年とは異なる事業を計上する必要性について意見が出され、引き続き検討することとした。また、壹岐支部長より、積極的な活動を支援したいので企画を求める趣旨の案内があった。

6. 2021 年度 支部委員等案

- ・ 次年度（2021 年度）の支部長の西澤副支部長より、資料に基づき 2021 年度の支部役員等案の説明があり、これが了承された。

7. 令和 2 年度 東北支部各賞選考結果

- ・ 壹岐支部長より、2020 年度の東北分析化学奨励賞に中川太一氏（福島大学大学院共生システム理工学類博士後期課程 3 年）が、学会賞等受賞候補選考委員より適任であるとの報告があったと説明があり、これが了承された。また、功績賞および分析化学賞の応募が無かったこと、本部奨励賞への福山氏の推薦について合わせて報告された。

8. その他

- ・ 今回の支部役員会をもって退任する井上久美幹事より、退任の挨拶があった。
- ・ 次回の支部役員会は、例年どおり 3 月下旬に開催予定であることが周知された。

以上

支部役員の変更・追加・退任について

【変更】

糠塚いそし先生（弘前大）：幹事 → 参与

【追加】

なし

【退任】

福村裕史先生（東北大名誉・仙台高専）

【ご逝去】

石井 一先生（東北大）

理事会及び本部・支部連絡会議報告

公益社団法人 日本分析化学会
2020 年度第 6 回理事会議事録（案）

1. 日時：2021 年 2 月 18 日（木）14：00～16：20
2. 場所：Web 会議
3. 出席者
 - 出席理事：金澤秀子、宮野 博、大谷 肇、原田 明、早下隆士、石田康行（14 時 30 分まで）、壹岐伸彦、蠣崎悌司、東海林敦、鈴木真由美、茶山健二、戸田 敬、長谷川健、早川慎二郎、松浦義和、森田耕太郎、柿田和俊（理事 19 名中 17 名が Web 双方向通信システムによる出席）
 - 出席監事：大塚浩二、田中俊逸（監事 2 名中 2 名が Web 出席）
 - 議長：金澤秀子
 - 事務局：三浦隆志
 - 欠席理事：石濱 泰、藤浪眞紀
4. 議題

【承認事項】（審議事項を含む）

【前回議事録の承認】

12 月 10 日に開催された第 5 回理事会議事録の内容確認： 資料 1

金澤代表理事より、第 5 回理事会議事録は既に送付済みであることが説明され、議事録の内容について全会一致でこれを承認した。

【本部活動】宮野筆頭副会長

1) 次期会長・副会長・監事投票 庶務理事推薦 結果： 資料 2

宮野業務執行理事より、早下隆士氏が次期会長、石濱泰氏が筆頭副会長、鈴木真由美氏、藤浪眞紀氏が副会長、金澤秀子氏が監事、西澤精一氏、山本博之氏、栗原 誠氏、村松康司氏、中山雅晴氏、黒田直敬氏がそれぞれ支部担当理事（庶務理事）に選出されたことが報告され、全会一致でこれを承認した。

2) 次年度理事候補者： 資料 3

前出の各理事に加え、小澤岳昌氏が業務執行理事、津越敬寿氏が編集担当理事として加わることが説明され、全会一致でこれを承認した。

3) 次年度支部役員（各支部担当理事）： 資料 4

資料 4 に基づき各支部の役員が紹介され、全会一致でこれを承認した。

4) 次年度事業計画： 資料 5

柿田業務執行理事より、本部、支部及び研究懇談会の事業計画案について説明がなされ、全会一致で承認した。

【組織運営】宮野筆頭副会長

1) 現預金残高： 資料 6

柿田業務執行理事より、昨年 10 月に特定預金の取り崩しを行い、年末に会費入金があったことをふまえて現在の預金残高状況と、今後は大幅な悪化はないとの予測が

示され、全会一致でこれを承認した。

2) 次年度予算策定の前提と予算計画： 資料 7、8

柿田業務執行理事より、資料 7 に基づき、次年度の予算作成の前提（交通費、会議費は、2020 年度と同じく Web 会議によるなどによって大幅削減可能）が説明された。引続き柿田業務執行理事より資料 8 に基づき本部、支部及び研究懇談会の予算案について説明がなされ、全会一致で承認した。また口頭にて次年度の資金調達及び設備投資の計画はないことが述べられ、全会一致で承認した。

茶山支部担当理事より、Webex のアカウントを増やす可能性について質問があり、運用の仕方は適宜検討することとした。

【学術事業】大谷副会長

1) 研究懇談会について： 資料 9

大谷業務執行理事より、受託分析研究懇談会より、活動の継続が難しいので、研究懇談会の活動を休止したい旨申し出があったことが紹介された。これを機会に、実質的な活動が行われていない懇談会の廃止、本会会員資格原則の徹底等、規程の変更も含めて、研究懇談会の改革が提案され、全会一致でこれを承認した。

【広報事業】 【会員管理】石濱副会長

金澤代表理事より、学会ホームページへの広告掲載の件について、企業による Web セミナーの広告の掲載等、今後検討していくためにワーキンググループを設置し、東海林編集担当理事に取りまとめをお願いしたい旨説明があった。また東海林編集担当理事より、企業セミナーの広告掲載と、学会主催で企業数社合同・他学会とも連携で Web セミナーを開催し、支部とも連携していく形で進める計画であることが説明され、全会一致でこれを承認した。

【出版事業】原田副会長

1) 各誌 2021 年度編集委員と編集方針（各編集理事）

・ぶんせき： 資料 10

森田編集担当理事より、企画の進行状況、編集体制の変更、事業計画、次年度編集委員が報告され、全会一致でこれを承認した。

・分析化学： 資料 11

東海林編集担当理事より、編集体制の状況、次年度編集委員、「分析化学」論文賞規程の変更が報告され、全会一致でこれを承認した。

・英文誌（Analytical Sciences, XSAO）：資料 12

長谷川編集担当理事より、Analytical Sciences 誌の次年度編集委員、X-ray Structure Analysis Online 誌の次年度編集委員、Analytical Sciences 誌投稿規定の変更、科研費の繰越の件が報告され、全会一致でこれを承認した。また、J-STAGE の News Letter で Analytical Sciences 誌が紹介された件、Springer 社との業務委託契約交渉の進捗状況が報告された。

【産学・社会活動】宮野筆頭副会長

【その他】事務局

1) 会員現況・入退会状況： 資料 13

事務局より、資料 13 に基づき会員の現況・入退会状況が報告され、全会一致でこれを承認した。

【報告事項】

【本部運営】

- 1) 第 71 回年会開催について：早川理事 資料 14
早川支部担当理事より、第 71 年会は 2022 年 9 月 14 日～16 日に岡山大学津島キャンパスで行うことが報告された。
- 2) ハラスメント防止措置について：宮野筆頭副会長 資料 15
宮野業務執行理事より、ハラスメント防止措置の実施について、資料に基づき報告された。また、職員人事委員会規程の改訂について説明され、承認事項として扱いたい旨提案があった。全会一致でこれを承認した。
- 3) 中部支部「創立 60 周年記念事業基金」の廃止：石田理事 資料 16
石田支部担当理事より、「創立 60 周年記念事業基金」は現在 185 万円の残金があり、時代の趨勢を鑑み、残金は支部若手基金に移したうえで当該基金は廃止する旨説明があり、全会一致でこれを承認した。
- 4) 他機関賞の推薦について 資料 17
推薦依頼があった他機関賞の応募については、資料のとおり推薦することとした。
- 5) 共同利用、共同研究拠点に関する要望書の件 資料 18
要望書の依頼については、資料のとおり、依頼者が会員であるか、本会との関わりがあるか、を明確にしたうえで作成することとした。
- 6) 次年度理事会・定時総会の日程 資料 19
2021 年度第 1 回理事会は 5 月 14 日（金）、定時総会は 6 月 9 日（水）または 6 月 11 日（金）として調整することとした。
- 7) 第 81 回分析化学討論会実行委員の変更について 資料 20
壹岐支部担当理事より、標記討論会実行委員の変更について説明があり、全会一致でこれを承認した。

以上で議案の審議等を終了し、16 時 20 分に議長（会長）は閉会を宣した。
この議事録が正確であることを証するため、会長及び出席した監事がここに記名押印する。

2021 年 2 月 18 日

公益社団法人日本分析化学会理事会

代表理事 会長 金澤 秀子

監 事 大塚 浩二

監 事 田中 俊逸

2020 年度事業報告（本部への報告）

【東北支部】

① 役員を選任

支部長	壹岐 伸彦			
次期支部長	西澤 精一			
副支部長	遠藤 昌敏	西澤 精一		
参 与	秋葉 健一	石井 一	宇野原信行	
大関 邦夫	大類 洋	尾形 健明	荻野 博	
長 哲郎	小田嶋次勝	後藤 順一	斎藤 紘一	
佐藤 允美	南原 利夫	星野 仁	山崎 慎一	
四ツ柳隆夫				
監 事	志村 清仁	糠塚いそし		
庶務幹事	高貝 慶隆			
会計幹事	唐島田龍之介			
幹 事	赤坂 和昭	石川大太郎	伊藤 徹二	
伊野 浩介	井上 久美	井上 亮	岩田 吉弘	
大江 知行	大橋 弘範	小川 信明	押手 茂克	
尾高 雅文	上條 利夫	菊地 洋一	北川 文彦	
熊谷 将吾	佐藤 勝彦	佐藤 健二	佐藤 雄介	
猿渡 英之	珠玖 仁	鈴木 敦子	田副 博文	
多田 美香	寺前 紀夫	照井 教文	仲川 清隆	
中川 公一	中山 健一	南雲 誠心	西澤 松彦	
野原 幸男	橋本 幹雄	火原 彰秀	平野 愛弓	
平山 和雄	福島美智子	福村 裕史	福山 真央	
藤村 務	末永 智一	松村 洋寿	眞野 成康	
盛田 伸一	和久井喜人	渡辺 壺	渡辺 健一	
渡辺 忠一				

② 研究発表会

- 「みちのく分析科学シンポジウム 2020」ならびに「分離機能とセンシング機能の化学セミナー2020」：7月18日、オンライン開催で開催された。特別講演2件が行われ、31名の参加があった。
- 2020年度化学系学協会東北大会（主催：日本化学会東北支部，共催：日本分析化学会

東北支部)：9月26日・27日，オンライン開催にて開催された。277件の講演があり，423名の参加があった。

③セミナー

- 1) 「分離機能とセンシング機能の化学セミナー」は，新型コロナウイルス感染拡大防止のため「みちのく分析科学シンポジウム2020」と合同開催となった。招待講演2件が行われ31名の参加があった。
- 2) 東北支部各賞講演会：12月12日，オンライン開催にて受賞講演を行った。東北分析化学賞・功労賞は，該当者なし。東北分析化学奨励賞は，中川太一氏（福島大）が受賞。

④セミナー等共催事業

- 1) 分析技術セミナー：9月24日，岩手県工業技術センター大ホールにて開催された。講演6件（内2件リモート講演）を行い，35名の参加があった。
- 2) 炭素材料技術セミナー：岩手県工業技術センター大ホールにて開催された。講演4件を行い，来場者26名およびリモート参加者180名の参加があった。
- 3) 電池搭載技術セミナー：10月28日，岩手県工業技術センター大ホールにて開催された。講演3件を行い，28名の参加があった。

2020 年度会計報告

収 支 計 算 書			
東北支部	令和2年3月1日から令和3年2月28日	(単位:円)	
科 目	収出入額	本年度予算	備考
1 事業活動収入			
講演会収入			
討論会収入			
講習会収入			
セミナー収入			
印税収入			
広告料・展示料収入			
寄付金収入	200,000	200,000	フロンティア・ラボ
補助金等収入			
本部	991,400	991,400	
その他	0	0	
受取利息	73	72	
雑収入			
事業活動収入計(A)	1,191,473	1,191,472	
2 事業活動支出			
臨時雇賃金	0	0	
会議費	0	0	会場代など
旅費交通費	0	800,000	役員会交通費、各事業での講演者旅費
通信運搬費	0	10,000	
消耗品費	0	5,000	
印刷製本費	0	30,000	各事業での要旨製本代費用
光熱水料費	0	0	
諸謝金	0	30,000	各事業での謝金
租税公課	0	0	
支払負担金	40,000	70,000	共催分担金(東北大会, 若手交流会)
支払助成金	0		
内部支払助成金	0	0	
委託費	0		
表彰費	620	30,000	支部各賞、各事業での表彰費用
雑費	2,640	5,000	振込み手数料、供花代金など
事業活動支出計(B)	43,260	980,000	
事業活動収支差額(C)=A-B	△ 1,148,213	△ 211,472	
3 投資活動収入			
特定資産取崩収入			
投資活動収入計(D)	0	0	
4 投資活動支出			
特定資産取得支出			
投資活動支出計(E)	0	0	
投資活動収支差額(F)=D-E	0	0	
当期収支差額(C+F)	△ 1,148,213	△ 211,472	
前期繰越収支差額	3,611,772	3,611,772	
次期繰越収支差額	4,759,985	3,823,244	

貸借対照表

東北支部

令和3年2月28日現在

(単位:円)

科 目	公益事業	収益事業	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	67,270	0	67,270
普通預金	4,692,601	0	4,692,601
郵便振替			0
定期預金			0
前払金			0
仮払金			0
流動資産合計	4,759,871	0	4,759,871
2 固定資産			
(1)特定資産			
東北支部活性化基金	3,018,775		3,018,775
東北支部企画基金	1,497,448		1,497,448
特定資産合計	4,516,223	0	4,516,223
(2)その他の固定資産			
器具備品			0
敷金			0
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	4,516,223	0	4,516,223
資産合計	9,276,094	0	9,276,094
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			0
公益事業勘定			0
流動負債合計	0	0	0
2 固定負債			
長期未払金			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
正味財産	9,276,094	0	9,276,094
(前期繰越正味財産)	8,127,881	0	8,127,881
(当期正味財産増減額)	1,148,213	0	1,148,213
負債及び正味財産合計	9,276,094	0	9,276,094

収支計算書及び貸借対照表の計算が適切であることを認めます。

令和3年3月15日 支部長 壹岐 伸彦 令和3年3月 日 監事 令和3年3月 日 監事 

日本分析化学会東北支部 2021 年度役員

黒字 → (2021.02.07 本部送信分)

赤字 → (2021.03.22 受領分)

【東北支部】 (〒960-1296 福島市金谷川 1 福島大学共生システム理工学類分析化学研究室)

支部長	西澤 精一					
副支部長	遠藤 昌敏	大江 知行				
参与	秋葉 健一	宇野原信行	大関 邦夫	大類 洋	尾形 健明	
	荻野 博	長 哲郎	小田嶋次勝	後藤 順一	斎藤 紘一	
	佐藤 允美	南原 利夫	糠塚 いそし	星野 仁	山崎 慎一	
	四ツ柳隆夫					
監事	志村 清仁	壹岐 伸彦				
庶務幹事	高貝 慶隆					
会計幹事	福山 真央					
幹事	赤坂 和昭	石川大太郎	伊藤 徹二	伊野 浩介	井上 亮	
	岩田 吉弘	大橋 弘範	小川 信明	押手 茂克	尾高 雅文	
	上條 利夫	唐島田龍之介	菊地 洋一	北川 文彦	熊谷 将吾	
	佐藤 勝彦	佐藤 健二	佐藤 雄介	猿渡 英之	珠玖 仁	
	鈴木 敦子	田副 博文	多田 美香	寺前 紀夫	照井 教文	
	仲川 清隆	中川 公一	中山 健一	南雲 誠心	糠塚 いそし	
	西澤 松彦	野原 幸男	橋本 幹雄	火原 彰秀	平野 愛弓	
	平山 和雄	福島美智子	福村 裕史	藤村 務	末永 智一	
	松村 洋寿	眞野 成康	盛田 伸一	和久井喜人	渡辺 壱	
	渡辺 健一	渡辺 忠一				

【再掲】

・退任

福村裕史先生 (東北大名誉・仙台高専)

資料 5-2

東北支部委員等一覧 (黄色帯が昨年度からの変更箇所)												
年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	備考
支部長	尾形 健明	尾形 健明	我妻 和明	我妻 和明	末永 智一	末永 智一	糠塚 いそし	糠塚 いそし	壹岐 伸彦	壹岐 伸彦	西澤 精一	
次期支部長		我妻 和明		末永 智一		糠塚 いそし		壹岐 伸彦		西澤 精一		
副支部長	糠塚 いそし	佐藤 健二	佐藤 健二	岩田 吉弘	岩田 吉弘	壹岐 伸彦	壹岐 伸彦	西澤 精一	西澤 精一	西澤 精一	大江 知行	
支部監事	安斉 順一	糠塚 いそし	糠塚 いそし	大江 知行	佐藤 健二	西澤 精一	西澤 精一	岩田 吉弘	岩田 吉弘	志村 清仁	志村 清仁	(討論会実行委員)
	福島 美智子	福島 美智子	大江 知行	尾形 健明	我妻 和明	我妻 和明	猿渡 英之	猿渡 英之	糠塚 いそし	糠塚 いそし	壹岐 伸彦	
副会長*または理事	寺前 紀夫	寺前 紀夫	我妻 和明	我妻 和明	末永 智一	末永 智一	糠塚 いそし	糠塚 いそし	壹岐 伸彦	壹岐 伸彦	西澤 精一	2013年から支部長が理事をかねる
常議員または代議員	赤坂 和昭	赤坂 和昭	赤坂 和昭	小川 信明	小川 信明	平山 和雄	平山 和雄	藤村 務	藤村 務	藤村 務	藤村 務	任期2年
	安斉 順一	安斉 順一	安斉 順一	平山 和雄	平山 和雄	糠塚 いそし	糠塚 いそし	平野 愛弓	平野 愛弓	平野 愛弓	平野 愛弓	
	岩田 吉弘	尾形 健明	小川 信明	糠塚 いそし	糠塚 いそし	渡辺 忠一	渡辺 忠一	末永 智一	末永 智一	赤坂 和昭	赤坂 和明	
	尾形 健明	佐藤 健二	佐藤 健二	渡辺 忠一	安斉 順一	安斉 順一	安斉 順一	中川 公一	中川 公一	遠藤 昌敏	遠藤 昌敏	
	佐藤 健二	松永 英之	松永 英之	安斉 順一	村本 光二	村本 光二	村本 光二	伊藤 徹二	伊藤 徹二	伊藤 徹二	伊藤 徹二	
	寺前 紀夫	山下 幸和	山下 幸和	村本 光二						火原 彰秀	火原 彰秀	
	松永 英之	渡辺 忠一	渡辺 忠一							岩田 吉弘	岩田 吉弘	
										北川 文彦	北川 文彦	
役員等候補者選考委員	福島 美智子	福島 美智子	福島 美智子	福島 美智子	福島 美智子	西澤 精一*	西澤 精一*	赤坂 和昭*	赤坂 和昭	赤坂 和昭	石川 大太郎	分野を考慮して選出。2名が本部決定委員となる。本部決定委員は連続2期を超えて留任できない。
本部決定委員	村本 光二	村本 光二*	赤坂 和昭*	赤坂 和昭*	赤坂 和昭*	糠塚 いそし*	伊野 浩介	伊野 浩介	伊野 浩介	伊野 浩介	平野 愛弓	
	末永 智一*	末永 智一*	壹岐 伸彦*	壹岐 伸彦*	壹岐 伸彦*	佐藤 雄介	佐藤 雄介	佐藤 雄介*	佐藤 雄介*	火原 彰秀	火原 彰秀	
	糠塚 いそし	糠塚 いそし	糠塚 いそし	糠塚 いそし	糠塚 いそし	伊野 浩介	珠玖 仁*	珠玖 仁	珠玖 仁*	珠玖 仁	上條 利夫	
学会賞等受賞候補者選考委員	眞野 成康	眞野 成康	眞野 成康	眞野 成康	眞野 成康	眞野 成康	柏倉 俊介	柏倉 俊介	柏倉 俊介	柏倉 俊介	眞野 成康	野原 幸男
	小川 信明	小川 信明	小川 信明	小川 信明	小川 信明	小川 信明	小川 信明	小川 信明	小川 信明	小川 信明	小川 信明	尾高 雅文
	大江 知行	大江 知行	大江 知行	大江 知行	大江 知行	大江 知行	大江 知行	大江 知行	大江 知行	大江 知行	大江 知行	眞野 成康
	星野 仁	星野 仁	星野 仁	星野 仁	安斉 順一	安斉 順一	安斉 順一	火原 彰秀	火原 彰秀	火原 彰秀	火原 彰秀	火原 彰秀
	我妻 和明	我妻 和明	末永 智一	末永 智一	北爪 英一	村本 光二	猿渡 英之	猿渡 英之	猿渡 英之	猿渡 英之	猿渡 英之	猿渡 英之
	村本 光二	村本 光二	村本 光二	村本 光二	村本 光二		珠玖 仁	珠玖 仁	珠玖 仁	珠玖 仁	珠玖 仁	壹岐 伸彦
編集委員	ぶんせき 山下 幸和	平野 愛弓	平野 愛弓	藤原 一彦	伊藤 徹二	伊藤 徹二	野原 幸男	野原 幸男	上條 利夫	上條 利夫	照井 教文	本部連絡済み
分析化学	水口 仁志	水口 仁志	北川 文彦	北川 文彦	照井 教文	照井 教文	大野 賢一	井上 久美	井上 久美	押手 茂克	押手 茂克	
Anal. Sci.	糠塚 いそし	糠塚 いそし	西澤 精一	西澤 精一	壹岐 伸彦	壹岐 伸彦	盛田 伸一	盛田 伸一	尾高 雅文	藤村 務	藤村 務	
支部庶務幹事	後藤 貴章	水口 仁志	水口 仁志	柏倉 俊介	柏倉 俊介	佐藤 雄介	佐藤 雄介	大野 賢一	大野 賢一	高貝 慶隆	高貝 慶隆	
支部会計幹事	平野 愛弓	珠玖 仁	珠玖 仁	後藤 貴章	伊野 浩介	伊野 浩介	田副 博文	田副 博文	唐島田 龍之介	唐島田 龍之介	福山真央	
支部ネットワーク委員							上條 利夫	上條 利夫	上條 利夫	上條 利夫	上條 利夫	

2021 年度予算案

収支予算書 (正味) 案			
令和3年3月1日から令和4年2月28日まで			
公益社団法人 日本分析化学会			
東北支部			
科 目	予算額	前年度予算額	備考
1 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	
受 取 入 会 金			
受 取 会 費			
事 業 活 動 収 入	2,301,473	1,191,472	
講 演 会 収 入			
討 論 会 収 入			
講 習 会 収 入			
印 税 収 入			
広 告 料 ・ 展 示 料 収 入			
補 助 金 収 入	1,031,400	991,400	
本 部	991,400	991,400	本部補助金
そ の 他	40,000	0	全国若手交流会助成金
受 取 寄 付 金	200,000	200,000	フロンティア・ラボより寄付金
雑 収 益	1,070,073	72	
受 取 利 息 収 入	73	72	
年 会 分 配 金	1,070,000		2018年度年会収益分配金 (約122万円) の一部
雑 収 入			
経常収益計	2,301,473	1,191,472	
(2) 経常費用			
事 業 活 動 支 出			
臨 時 雇 賃 金	0	0	
会 議 費	0	0	会費代など
旅 交 通 費	800,000	800,000	役員会交通費、各事業での講演者旅費
通 信 運 搬 費	5,000	2,500	
消 耗 品 費	5,000	5,000	
修 繕 費	0	0	
印 刷 製 本 費	60,000	60,000	各事業での要旨製本代費用
賃 借 料 (リース除く)	50,000	50,000	
詰 謝 金	40,000	40,000	各事業での謝金
租 税 公 課	0	0	
支 払 負 担 金	80,000	70,000	共催分世金 (化学系学会東北大会、若手交流会 (合同開催))
支 払 助 成 金	700,000	0	提案型公募シンポジウム (30万円)、若手海外派遣プログラム (20万円×2)
内 部 支 払 助 成 金	0	0	
委 託 費	0	0	
表 彰 費	350,000	30,000	支部各員 (功績賞、化学賞、奨励賞、若手研究奨励賞)、各事業での表彰費用 (ポスター賞)
雑 費	5,000	5,000	審判の手数料、賞状証明代金など
経常費用計	2,095,000	1,062,500	
評価損益調整前当期増減額	206,473	128,972	
評価損益等計			
当期経常増減額	206,473	128,972	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
雑 損 失	1,070,000		収入の年会収益分配金分を打ち消すための損失
経常外費用計	1,070,000	0	
当期経常外増減額	-1,070,000	0	
当期一般正味財産増減額	-863,527	128,972	
一般正味財産期首残高	9,276,094	8,127,811	
一般正味財産期末残高	8,412,567	8,256,783	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高	0	0	
III 正味財産期末残高	8,412,567	8,256,783	

事業案件別支出案

事業案件別支出		
収入		
	2020年度決算額(円)	2021年度予算額(円)
本部補助金	991,400	991,400
寄付金	200,000	200,000
その他(利息等)	73	-
計	1,191,473	1,191,400
支出		
	2020年度決算額(円)	2021年度予算額(円)
第1回役員会	0	241,000
第2回役員会	0	241,000
第3回役員会	0	241,000
分離機能とセンシング機能の化学セミナー	0	0
みちのく分析科学シンポジウム	0	130,000
日本分析化学東北支部若手交流会	0	40,000
化学系学協会東北大会(共催分担金)	40,000	40,000
無機・分析化学コロキウム(共催分担金)	0	0
支部各賞	620	1,050,000
通信運搬費・雑費(残高証明、振り込み手数料、消耗品)	2,640	20,000
計	43,260	2,003,000

2021 年度事業計画案

1. 研究発表会

- ・みちのく分析科学シンポジウム 2021

2021 年度化学系学協会東北大会

会期：2021 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）

会場：日本大学工学部（福島県郡山市）

重要期日： [講演登録受付期間] 4 月上旬(予定)～5 月 28 日(金)

状況：現在のところ、対面式を想定

2. セミナー

- ・分析機能とセンシング機能の化学セミナー2021

会期：日本分析化学会東北支部 2021 年 第 1 回役員会当日（2021.03.27）

特別講演：小川 信明 先生（秋田大）

2021 年度東北・関東支部合同開催東日本分析化学若手交流会

関東支部主催，詳細未定

第 37 回無機・分析コロキウム

詳細未定

支部を活性化する新規事業案

20201215

壹岐伸彦

1. 提案公募シンポジウム
 - 趣旨：中堅・若手にシンポジウムを企画提案させ、支部で審査の上、採択したものを支援する。とくに東北支部の若手の活躍の場を与え、そのプレゼンスを広く知らしめる。
 - 形式：対面・オンライン問わず。
 - 規模：全国レベル。国際も OK。
 - その他：原子力領域など異分野を戦略的に取り込むのであれば、提案者や地域規模は問わない
 - 予算枠 30 万×1 件

2. 若手海外派遣プログラム
 - 趣旨：若手に国外学会での研究発表参加費（登録料・旅費）を補助し、国際発信力を強化する。先だって参加理由書に基づき審査して採否を決める。参加後、支部に当該学会での Hot Topic や動向について報告させる。
 - 予算枠 20 万×2 件

3. ・若手研究企画賞
 - 趣旨：若手に研究を企画させ、提案書を審査の上、優れたものに賞と賞金を与える。特に支部内での共同研究を優先的に採択し、論文投稿を勧奨する。
 - 運用：賞金は奨学寄付金とし、研究に充当させる。
 - 30 万×1 件

4. その他
 - DC 学生へのサポート
 - 会員増強のためのサポート